



国立江田島青少年交流の家

◆ 概要

自然の中でグループで協力し食事をつくり、楽しく食事をする。

◆ ねらい

- 自然の中で楽しく野外炊事をし、仲間との親睦を図る。
- 作業を分担することにより、主体性を育てるとともに、協調性、思いやりの心を育てる。
- 水、洗剤の使用量やゴミの排出量等を考えることにより環境問題への関心を高める。

◆ 指導者、人数など

対象	小学4年生以上 (保護者や引率者と組む場合は3年生以下も可能)
指導	各団体、交流の家職員(点検時)
人数	10人から最大200人まで <1グループ10人まで> (第1野外炊事場:最大100人) (第2野外炊事場:最大100人) *100人以上は第1,第2の2か所に 分かれての実施になります。
実施時間	3~4時間
実施場所	野外炊事場
実施時期	3~12月



第1野外炊事場



第2野外炊事場

◆ 準備物

個人	団体	交流の家	レストラン
<input type="checkbox"/> 運動靴 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 軍手(綿100%) <input type="checkbox"/> 帽子	<input type="checkbox"/> 布巾(食器拭き用) <input type="checkbox"/> 雑巾(テーブル拭き用) <input type="checkbox"/> マッチ等(点火用) <input type="checkbox"/> 新聞紙等(点火用) <input type="checkbox"/> 排水口用ネット(第1野外炊事場) <input type="checkbox"/> 三角コーナ用ネット(第2野外炊事場) <input type="checkbox"/> 携帯電話 (必要に応じて) <input type="checkbox"/> うちわ <input type="checkbox"/> 着火剤 ※BBQ時 <input type="checkbox"/> レジャーシート	<input type="checkbox"/> 野外炊事セット(1セット10人用) まな板2、包丁2、深皿10×2、はし10、スプーン10、ごはん釜、鍋、ボール、ざる、おたま、ピーラー、消毒液、亀の子たわし、ナイロンたわし2、スポンジ2 <input type="checkbox"/> ナタ(引率者が使用する場合は職員による指導が必須) <input type="checkbox"/> 火ばさみ <input type="checkbox"/> 金ばけつ <input type="checkbox"/> ポリバケツ	<input type="checkbox"/> 食材 <input type="checkbox"/> 液体洗剤 <input type="checkbox"/> 液体クレンザー <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> レシピ(調理方法) <input type="checkbox"/> 薪(持ち込み可) <input type="checkbox"/> 炭(持ち込み可)

◆ 展開

	団体の動き	職員の動き
事前指導	①つどいの広場(雨天時:ピロティ)にグループ毎に整列する。 ②健康観察を行う。 ③目的および役割分担(食材班・食器班・火起こし班)等を確認する。 ④注意事項を確認する。 【安全管理上の注意事項】 ・洗浄や消毒を行うなど、食中毒の防止に努める。 ・刃物の取り扱いには十分注意する。 ・軍手を着用し、やけどを防ぐ。 ・健康状態に十分配慮し、体調不良者(特に腹痛・下痢のある者)は調理を控える。 ・引率者の指示に従い、悪ふざけや勝手な行動は絶対しない。 ・体調が悪くなったら早めに活動をやめ、引率者に連絡をする。 ・かまどの周囲には燃えやすい物を置かず、火災に十分注意をして実施する。 ・かまどには絶対に水をかけない。	なし

「野外炊事」研修

2021/10/01

野外炊事	食材班	食器班	火おこし班	物品の貸し出し
	食材等をレストランに取りに行く。 野外炊事場へ移動する。	つどいの広場から野外炊事場へ移動する。 ・野外炊事場倉庫から必要物品を受け取る。 ・貸出物品の過不足、破損等がないか確認する。	薪や炭を野外炊事場へ運ぶ。 野外炊事場へ移動する。	
野外炊事	食材班	食器班	火おこし班	なし
	食材（野菜やフルーツ等）を洗う。	食器類・調理用具を洗い、アルコール消毒をする。	炊きつけ用の薪を用意する。（ <u>ナタを使用する場合は、職員による指導が必須です。</u> ）	
	野菜等を切る。	お米を研ぐ。	薪を組み、火おこしの準備をする。	
	鍋に入れ、かまどで調理をする。	ご飯釜に入れ、かまどでお米を炊く。	かまどで火をおこす。	
会食	楽しく食事をする ※食後、団体代表者による片付の説明・役割分担の確認			なし
片付け	まな板・包丁・鍋・ご飯釜等、調理用具を洗う。	お皿・スプーン等、食器類を洗う。	・かまどに残った灰を、金バケツを使って灰捨て場に捨てに行く。 ・かまどおよびかまど周辺をほうきで掃き、きれいにする。 （かまどの鉄の網は立てない。）	点検
	生ゴミ等を回収し、流しをきれいにする。	・食器類・調理用具の水気を布巾で取り、アルコール消毒をする ・貸出物品の過不足、破損等がないか確認する。		
	【点検】 ①団体代表者は点検を受けられる状態か確認を行う。 （確認後、事務室へ点検の依頼をする。） ②団体代表者は職員による点検を受ける。 （不十分な場合は、再度、洗浄や清掃を行う。）			
レストランからの借用物品を返却する。	野外炊事場倉庫からの借用物品を返却する。	ゴミをゴミ置き場に持っていく。	貸し出し物品の数量を確認する。	
事後指導	①つどいの広場に整列する。 ②健康観察を行う。 ③交流の家に研修終了の報告をする。			なし

【ゴミの分別方法】

○一般のゴミ

生ゴミ（残飯含む）、紙くず、ペットボトルのふた・ラベル、プラスチック類、布類、ビニール等  
→一般のゴミはレストランから配布されたゴミ袋にすべてまとめて入れる。

○飲み物容器（ペットボトル、空き缶 等）

→中を軽く水ですすぎ、飲み物が入っていたダンボールまたは袋に入れる。

○薪を束ねている針金

→薪をレストランで購入した場合は、針金をレストランへ返却する。  
針金を外していない薪束は、レストランへ返品することができる。

◆ 連絡先

江田島青少年交流の家 電話 0823-42-0660, 42-0663（夜間）

## 「野外炊事研修」プログラムの流れ

